

広次

ひろつぐ 忠彦 通信

No. 169

2006年8月5日
日本共産党大分市議団

日出生台の演習拡大許すな

機関銃など

小火器の訓練要求

今年の米海兵隊の演習時、「機関銃や小銃などの演習をおこないたい」と、防衛庁福岡施設局を通じて、地元自治体に要望がありました。大分県・由布市・玖珠町・九重町でつくる日出生台演習場問題協議会（4者協）は「演習の拡大であり、受け入れられない」との立場を明らかにしています。

砲陣地防御訓練

テロ対策の一環

米海兵隊が「砲陣地防御」訓練を要求する背景には、9・11同時多発テロがあります。これまで5カ所の移転演習場のうち、王城寺原・北富士・東富士の3カ所で、訓練が実施されています。

『4者協』が

自衛隊訓練視察

7月16日、『4者協』は、「現地の実態を知る必要がある」として、陸上自衛隊の小火器訓練を視察しました。この視察は、福岡防衛施設局が企画したものです。

石川副知事は「実態はよく分かった」「基本姿勢は変わることはないが、県民の安全・安心を考えて、再度協議したい」と、話しています。

「反対貫いて」

地元住民



『4者協』の現地視察に対して、地元住民やローカルネット大分・日出生台のみなさんは「米軍訓練の拡大は絶対ダメ」「国の圧力に屈することなく、き然と、拡大反対を貫いて」など、アピールしました。

広次忠彦市議の談話

次の米海兵隊の演習は、来年2月に予定されています。これまでに米海兵隊が、防衛施設庁を通じて、執拗に小火器訓練を要求してくることはあきらめず。

県民の安全を守るためにも、これ以上の訓練の拡大は許せません。演習の恒常化を許さず、中止を求めてさらに運動をひろげていきましょう。

「ヒロシマへ・ナガサキへ」
被爆61年目の今年の夏も、ヒロシマ・ナガサキにむけて、『国民平和大行進』がすすみました。広次市議は、大分市内全日程を歩き、大分市長などへ、申し入れもおこなっていました。

活動トピックス

7月4日 大分多重債務問題対策協議会の設立総会に参加。

7月6日 交通指導員研修会に参加。15年表彰を受ける。

7月21日 NPO法人「せせらぎの会」理事長を訪問。一瀬川をはじめとした河川の清掃、虫を増やす取り組みなどについて、お話をうかがいました。

多重債務(サラ金問題)は1人で悩まずに

アイフルの違法行為をはじめ、サラ金の高金利問題などがマスコミでも取り上げられています。「借りたのだから…」とあきらめず、特定調停(利息制限法での返済)などをおこない、安心して暮らせるようになりましょう。

ご相談は広次市議(568-8833)まで